

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 愛のともしび基金事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 地域福祉係 電話番号：058-272-1111(内2622)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,000 千円 (現計予算額： 42,479 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	42,479	0	0	0	126	18,000	24,353	0	0
補 正 要求額	3,000	0	0	0	0	0	3,000	0	0
決定額	3,000	0	0	0	0	0	3,000	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

社会福祉事業の振興及び充実を図るため、岐阜県愛のともしび基金に寄せられた寄附金を財源とし、社会福祉法人、NPO法人等が実施する福祉活動に対し補助を行う。

<細々事業別>

	現計予算額	補正要求額	補正後予算額
愛のともしび基金積立金	18,000	0	18,000
愛のともしび基金(運用利子分)	126	0	126
愛のともしび基金事業推進費	353	0	353
愛のともしび基金事業費補助金(施設整備)	10,500	3,000	13,500
愛のともしび基金事業費補助金	13,500	0	13,500
合計	42,479	3,000	45,479

(2) 事業内容

助成対象事業名	補助率	補助限度額
社会福祉法人等施設整備事業	1/2以内	1,500千円
社会福祉法人等備品整備事業	1/2以内	750千円
社会福祉法人等調査・研究開発事業	1/2以内	500千円
社会福祉法人等啓発事業	1/2以内	500千円
福祉活動団体育成事業	1/2以内	500千円
その他の事業	1/3以内	500千円

(3) 県負担・補助率の考え方

愛のともしび基金事業は、県民からの善意の寄附金を財源として、社会福祉法人、福祉NPO、ボランティア団体など、営利を目的としない団体が行う地域福祉活動に対して補助金交付を通じてその取り組みを支援するものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,000	施設整備事業
合計	3,000	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県愛のともしび基金に寄せられた寄附金、基金の運用益を基に、国・県の補助対象とならない民間社会福祉事業に助成を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標	
					達成率	
①補助件数 (確定値)		21件 16,340千円	35件 29,770千円	25件 24,000千円	25件 24,000千円	140%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容 <li style="padding-left: 20px;">＜令和2年度の補助内容＞ <li style="padding-left: 40px;">合計 件数：21件 補助金額：16,340千円 <li style="padding-left: 40px;">・施設整備 件数：6件 補助金額：7,570千円 <li style="padding-left: 40px;">・備品購入 件数：15件 補助金額：8,770千円
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	<p>社会福祉法人やNPO法人等が行う福祉活動に対し、きめ細かい支援を行うことで、対象法人等が行う福祉活動の効率化や規模拡大、福祉施設利用者の利便性向上等に寄与している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	<p>営利を目的としない団体が行う地域福祉活動に対して補助金交付を通じて幅広くその取り組みを支援することができている。 一方、コロナ禍における景気の低迷や、低金利が長期化している現在の状況下において、寄附実績・基金収入は全体的に低下する傾向にあり、新規寄附者の開拓などにより基金財源の安定化を図る必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	<p>寄附収入が伸び悩む中、細く長く継続するため、幅広に周知するなどニーズを最大限ひろい上げ、できるだけ補助件数を確保できるようにしている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 平成23年度以降は、公益財団法人田口福寿会から同会が実施してきた助成事業の財源相当額を、1,300万円を上限として毎年寄附いただいていたが、令和元年度から寄附額が1,200万円となった。 経済情勢の悪化等による寄附金や利子収入の減少により、基金収入が減少しているため、今後の継続的な事業実施が不透明な状況が続いている。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 景気が上向かず、低金利が長期化している現在の状況下において、基金収入は全体的に低下する傾向にあり、基金を取り崩しながら補助事業を実施している。今後は新規寄附者の開拓など、基金財源の安定化を図るための方策を検討していく。
--

(他事業と組み合わせる場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	